

令和7年度 全国山岳遭難対策協議会開催要項

1 趣 旨

登山における遭難事故を防止するため、山岳関係者や山岳遭難対策関係者の参加を求め、山岳遭難の原因等について研究協議し、今後の遭難対策の具体的施策に役立てる。

2 主 催 スポーツ庁

共 催 環境省、警察庁、気象庁、消防庁、公益社団法人日本山岳・スポーツライミング協会、
独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所、山岳遭難対策中央協議会

3 期 日 令和7年7月11日（金）受付：9:30～

開始：10:00 終了：15:30（予定）

4 会 場 文部科学省 東館3階講堂 及び オンライン開催

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

5 参加者 会場定員：350名程度 / オンライン参加定員：上限なし

- (1) 各都道府県教育委員会の関係者
- (2) 高等学校登山部（山岳部）、高等専門学校山岳部、大学山岳部の関係者（顧問、監督、コーチ等）
- (3) 各都道府県山岳遭難救助組織（都道府県遭難対策協議会、警察、消防防災、自然公園保護等）の関係者、各都道府県山岳連盟（協会）の関係者
- (4) 山岳ガイド、山小屋の関係者、旅行会社等のツアー登山関係者、メディア関係者、登山道具製造業関係者、登山道具小売業関係者
- (5) その他山岳団体関係者

6 申し込み

参加をご希望の方は、以下の申し込みフォームより、必要事項を記入していただき、下記の日時までにお申し込みください。

申し込みフォーム：<https://forms.gle/8SYjJk6yaJLGz8gUA>

会 場 参 加： 令和7年7月4日（金）12時～

オンライン参加： 令和7年7月4日（金）18時～

※ページ下部の「送信」ボタンを押すと、「回答を記録しました」という画面が表示されます。

なお、**申込完了メールはシステム上で送信されません**ので、あらかじめ御了承ください。

（申込者には、後日資料等をメールでお送りします。）

7 お問合せ先

■開催概要・プログラム内容に関するお問合せ

スポーツ庁健康スポーツ課 担当：黒田、富澤

電話番号：03-5253-4111（内線 3939・2685）

アドレス：kensport@mext.go.jp

■お申し込みに関するお問合せ

株式会社アイフィス／参加申込み受付係（スポーツ庁からの運営受託業者）

電話番号：03-5395-1201（受付時間9時30分から17時00分 土日祝日除く）

アドレス：sangaku@ifys.jp

8 内容

9:30～	受付	
10:00～10:10 (10分)	開会式	開会挨拶 協議会の流れをご案内
10:10～10:40 (30分)	報告Ⅰ	テーマ：「令和6年における山岳遭難の概況等について」(仮題) 警察庁生活安全局生活安全企画課地域警察指導室 課長補佐 齋藤 正裕 氏
10:40～11:10 (30分)	報告Ⅱ	テーマ：「弘前地区消防事務組合における山岳救助体制」(仮題) 青森県弘前地区消防事務組合 黒石消防署 消防士長 佐藤 裕太 氏
11:10～11:50 (40分)	講演	テーマ：「山岳安全対策ネットワークについて」(仮題) 講師：今 吏靖 氏 (インフカム株式会社 代表取締役)
11:50～12:00 (10分)	アンケート	参加者の皆様を対象に後半の講義テーマに関する Web アンケートを実施
12:00～13:00 (60分)		昼休憩
13:00～		テーマ：「コロナ禍以降の山岳遭難データから読み取る年代別・男女別の 特徴とその対策」(仮題)
13:00～13:10 (10分)	はじめに	「国立登山研修所専門調査委員会について」 米山 隆 氏 (独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所長)
13:10～13:50 (40分)	講義	「全体導入」 講師：村越 真 氏 (静岡大学教授)
13:50～14:30 (40分)	講演①	テーマ：「転滑落・転倒防止に役立つトレーニング」(仮題) 講師：安藤 真由子 氏 (株式会社ミウラ・ドルフィンズ、低酸素トレーナー、 体育学博士、健康運動指導士登山ガイド)
14:30～14:40 (10分)		小休憩
14:40～15:20 (40分)	パネルディスカッション	「アンケート結果を踏まえてテーマにかかわる問題点をパ ネラーが考察」 パネリスト：村越 真 氏、安藤 真由子 氏
15:20～15:30 (10分)	閉会式	閉会挨拶 日本山岳・スポーツクライミング協会 会長 蛭田 伸一 氏

※ 講演者・内容は予告なく変更となる可能性もありますので、予めご了承ください。